

チャレンジ鹿児島労働局（21年6月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島市山下町 13-21

TEL 099-223-8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

5月の有効求人倍率は 0.34倍で 前月を 0.02ポイント下回る

鹿児島県の5月の有効求人倍率(季節調整値)は 0.34 倍(前月 0.36 倍)と、前月を 0.02 ポイント下回りました。新規求人倍率(季節調整値)は0.60 倍(前月 0.66 倍)と前月を 0.06 ポイント下回りました。

新規求人数は前年同月比 29.6%の減少で、16ヶ月連続で減少となり、減少幅が大きくなりました。

産業別では、建設業(8.1%減)4ヶ月連続、製造業(37.3%減)は10ヶ月連続、運輸業、郵便業は44.1%の減少、卸売業、小売業は31.4%の減少、宿泊業、飲食サービス業は20.1%減少、医療・福祉(19.4%減)は5ヶ月連続、さらに、サービス業も60.5%の減少となりました。

新規求職者数は前年同月比 3.9%の増加で、9ヶ月連続で増加となりました。

新規常用求職者の態様別では、在職求職者(4.4%減)は 23 か月ぶりに減少し、また、離職求職者(12.1%増)は6ヶ月連続で増加、無業求職者(11.0%減)は、9ヶ月ぶりに減少に転じました。

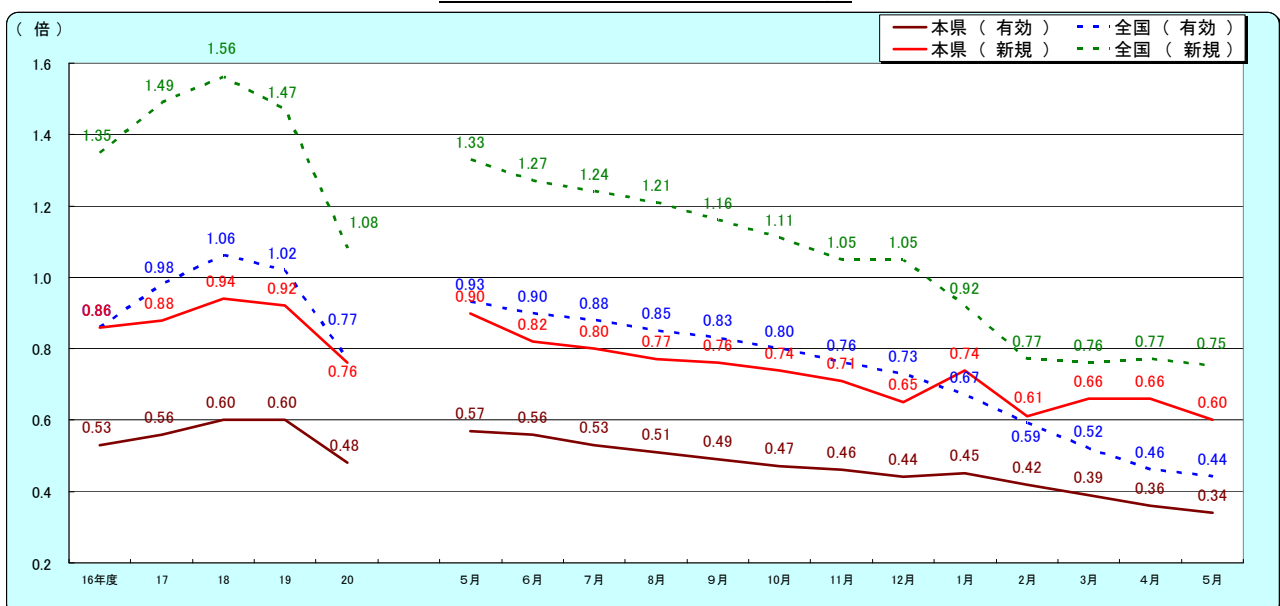
離職求職者の内訳では事業主都合離職者(44.6%増)は12ヶ月連続で増加し、自己都合離職者(1.8%減)は3ヶ月ぶりに減少となりました。

政府の6月の月例経済報告では、景気の基調判断を、「厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる」と上方修正していますが、雇用情勢については、厳しい状況が続いており、新規求人は引き続き低下傾向で推移すると思われます。一方、新規求職は、在職求職者や無業求職者が前年同月比で減少に転じる等、一部に下げ止まり感も見受けられますが、雇用調整等に伴う離職者が引き続き見込まれることから、全体としては増加傾向で推移するものと思われます。

鹿児島労働局では厳しい雇用情勢の下、雇用のセーフティネットとして、緊急雇用対策を積極的に活用し、雇用維持や再就職支援等に取り組んでいるところです。今後は、平成21年度補正予算の成立に伴い拡充された施策を加えて、より一層効果的な行政の展開に努めて参ります。

(職業安定部職業安定課)

有効(新規) 求人倍率の推移



U I ターンフェア “かごしま” & 県内就職合同面接会の開催

8月12日（水）に「U I ターンフェア “かごしま” & 県内就職合同面接会」を鹿児島市内の「かごしま国際ジャングルパークベイサイドガーデン」で開催します。

昨年度は、90社が参加し、419名の求職者が訪れ活発な面談がなされました。このうち35名の方の就職が決定しました。

このフェアについては、7月下旬から8月上旬にかけて鹿児島県及び労働局のホームページ上にも掲載するとともに、新聞広告への掲載、JR等公共機関へのPRなど周知を図ってまいります。

（職業安定部職業対策課）

7月1日～7日は「全国安全週間」

「鹿児島労働安全衛生大会」を7月1日に開催

全国安全週間は、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、昭和3年に初めて実施されて以来、一度も中断することなく続けられ、82回目を迎えます。

本年は、「定着させよう 安全文化 つみ取ろう職場の危険」のスローガンのもとに展開されます。

鹿児島県労働災害防止団体等連絡協議会では、この安全週間に合わせて、「鹿児島労働安全衛生大会」を7月1日（水）13時から宝山ホール（鹿児島県文化センター）で開催します。

この大会は事業者、労働者がそれぞれの役割を果たし、組織一丸となって安全衛生管理対策に取り組む契機とするもので、安全衛生管理活動の優秀な下記の事業場や個人の表彰及び塩川哲郎氏（環境ネットワーク鹿児島代表）による特別講演（地球に未来と子供たちの明日のために）が行われます。

【鹿児島労働局長 奨励賞】

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 株式会社藤田ワークス（一般機械器具製造業） | （霧島市） |
| 株式会社勇建設（土木工事業） | （大島郡瀬戸内町） |
| 株式会社九電工長島風力発電工事所（その他の建設工事業） | （出水郡長島町） |

【鹿児島労働局長 功績賞】

- | | |
|----------------|--------|
| 高津 三也（出水建設業協会） | （阿久根市） |
|----------------|--------|

【鹿児島労働局長 安全衛生推進賞】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 森 ゆかり（鹿屋・肝属地域産業保健センター） | （鹿屋市） |
| | （労働基準部安全衛生課） |

梅雨期等における労働災害防止の徹底について

鹿児島労働局は、6月9日、本年も鹿児島県全域が梅雨期入りしたことを受けて、例年、この時期に大雨等による土砂崩壊災害が発生し、加えて、これらに関連する災害復旧工事などにおいても労働災害が発生していることから、県内における建設現場等での土砂崩壊等による労働災害防止を図るため、地山の点検及び結果に基づく対策の樹立等をはじめとした「土砂崩壊等による労働災害防止重点対策事項」について、関係事業者団体、建設発注機関及び各労働基準監督署に対し周知・指導を図るよう要請・指示しました。

鹿児島労働局及び県内各労働基準監督署においては、労働災害は事前の対策を徹底することにより防止できるものであることから、「土砂崩壊等による災害防止重点対策事項」を中心に今後とも関係者に広く注意を喚起していくこととしています。

(労働基準部安全衛生課)

熱中症予防対策の徹底について

鹿児島労働局では、6月23日、各事業者団体、建設工事発注機関等に対し、熱中症予防対策の周知等の徹底を要請しました。

厚生労働省では、従来より職場における熱中症の予防対策を推進し、各団体や事業場においても対策に取り組まれておりますが、全国における熱中症による死亡者数は年間約20名を数え、また、休業4日以上の子災者数が年間約300名にも上り、当県でも一昨年に死亡災害が発生し、休業災害も後を絶たない状況にあります。

さらに、糖尿病、高血圧症等が一般に熱中症の発症リスクを高めること等を踏まえた熱中症予防対策の推進を図ることが必要であることから、厚生労働省において新たな対策が取りまとめられたことを受けて、要請を行ったものです。

鹿児島労働局及び県内各労働基準監督署においては、これから高温環境下での作業等が盛んとなることから、対策の実施をより一層呼びかけていくこととしています。

(労働基準部安全衛生課)